2026 年 11 月 25 日
TOPPAN 株式会社

TOPPAN ホールディングス、LGBTQ＋への取り組みを評価する「PRIDE 指標 2026」において「レインボー認定」を獲得

6 年連続となる最高位の「ゴールド」認定と併せて「レインボー認定」を初獲得
NPO との協働や事業連携による社会共創が高く評価

TOPPAN ホールディングス株式会社（本社：東京都文京区、代表取締役社長：大矢 諭、以下 TOPPAN ホールディングス）は、「PRIDE 指標 2026」において、最高位の「ゴールド」に 6 年連続で認定されるとともに、今年は初めて「レインボー認定」を獲得しました。

「PRIDE 指標」は、企業・団体等の枠組みを超えて LGBTQ＋が働きやすい職場づくりを日本で実現するために実施されるもので、企業の取組を達成度に応じて「ゴールド」「シルバー」「ブロンズ」の 3 段階で評価しています。「レインボー認定」は、「ゴールド」認定企業・団体のうち、日本における LGBTQ＋に関する法制度の実現に企業・団体として公に賛同表明し、LGBTQ＋に関する理解促進や権利擁護のため、自社・自団体だけでなくセクターを超えた主体と協働する取組を推進している企業や団体を認定する制度です。

TOPPAN は今回、従来から実施してきた制度改革や意識啓発といった社内基盤の強化に加え、NPO 法人やグループ企業とのセクター間の協働による社会啓発や、LGBTQ＋に関する取組の経験やノウハウを企業間で学び合う勉強会の企画・共催など、社会へ知見を還元する取組が高く評価されました。

work with Pride Rainbow 2026　　work with Pride Gold 2026

■ TOPPAN グループの取組

TOPPAN グループは、「人間尊重」「企業は人なり」という信念のもと、価値創造の担い手である「人財」を起点とした人的資本経営を推進しています。ダイバーシティ&インクルージョン（以下 D&I）を変革の原動力の 1 つと位置づけ、2018 年より本格的に開始した LGBTQ＋/SOGI（※1）に関する取組を、制度改革や意識啓発といった基盤づくりから社内風土の醸成、さらには社会共創・事業連携へと発展させてきました。

・NPO 法人・グループ企業とのセクター間協働による社会啓発

NPO 法人など専門機関への協賛や連携により、社会との対話や LGBTQ＋/SOGI に関する社会全体の理解促進に取り組んでいます。具体的活動としては、2026 年 6 月に開催された「Tokyo Pride 2026」において、認定 NPO 法人虹色ダイバーシティ、TOPPAN ホールディングス、TOPPAN 芸造研株式会社（以下 TOPPAN 芸造研）が協働で企業ブースを出展しました。TOPPAN 芸造研が持つ臨床美術のノウハウを活かし、自分の名前や大切にしている呼び方をモチーフに形や色を自由に描き、自分らしさを表現する体験型アートプログラム「マイネームカラフルリズム」を開催し、2 日間で約 300 名が参加しました。また、専門講

TOPPAN ホールディングス株式会社　広報本部
E-mail:kouhou@toppan.co.jp

師による、プライドパレード（※2）の歴史や意義を学ぶレクチャーを受け、来場者への言葉遣いやプライバシー保護などの心構えを学んだ社内「TOPPAN ALLY（※3）」ボランティアが運営に参加しました。多様な背景や感性を持つ来場者との対話を通じて、社員自身が多様な価値観への知見を広げるとともに、D&I を実体験として自分ごと化する貴重な学びの場となりました。

・他企業との対話の場を創出

自社内にとどまらず社会全体の D&I 推進を加速させるため、他企業と連携した異業種勉強会や当社の得意先企業向けの勉強会を企画・共催し、知見の共有や課題解決に向けた対話の場創出を推進しています。さらに、性的指向や性自認による差別を禁止するLGBT平等法の制定を目指す「ビジネスによるLGBT平等サポート宣言」への賛同を通じ、誰もが自分らしく生き、平等に働ける社会の実現を後押ししています。

・社内基盤の強化と社会への知見還元

制度・意識・風土を三位一体で変革し、制度改革や意識啓発といった社内基盤を強化しています。具体的には、就業規則における同性・事実婚パートナーの配偶者定義の明記と、各種休暇や手当、福利厚生など同等制度への適用のほか、労使で締結する協定書にSOGIハラやアウティングの禁止を明文化しています。加えて、経営層から新入社員までの階層別実践教育、「TOPPAN ALLY」のステッカー配布や、勉強会の継続開催による可視化を通じて、高い心理的安全性を備えた職場風土を醸成しています。

また、社内で培ったこれらの知見を活かした得意先企業向けのインクルーシブ・コミュニケーション支援やユニバーサルデザインの実装など、事業を通じた社会課題解決にも取り組んでいます。

■ 今後の目標

TOPPANグループはこれからも、時代に合わせて「公平性（Equity）」を最適化しながら普遍的な「多様性（Diversity）」「包摂（Inclusion）」を源泉として変化し続けることで、社員の Well-being 向上とイノベーション創出を実現し、社会的価値創造企業として持続可能なインクルーシブ社会の構築に貢献していきます。

■ 「PRIDE 指標」について

「PRIDE 指標」は、職場におけるLGBTQ＋などの性的マイノリティへの取組を評価する指標です。LGBTQ＋の方が自分らしく働ける職場づくりを進めるための施策を社会に広めることを目的に設立された一般社団法人 work with Pride が、2016 年に策定しました。「Policy：行動宣言」「Representation：当事者コミュニティ」「Inspiration：啓発活動」「Development：人事制度・プログラム」「Engagement/Empowerment：社会貢献・渉外活動」の 5 つを評価指標としています。

※1　SOGI：Sexual Orientation（性的指向）& Gender Identity（性自認）の頭文字。

※2　プライドパレード：LGBTQ＋をはじめとする性的マイノリティの人々が、自身の性的指向や性自認に誇りを持ち、差別や偏見のない社会や法的権利の保障を求めて街を歩くパレードのこと。

※3　「TOPPAN ALLY」：TOPPANグループにおいて多様な性のあり方や職場の多様性に理解と共感をもち、誰もが働きやすい職場環境に繋げようと意識・行動を心掛ける人たちのこと。

関連サイト：「ダイバーシティ＆インクルージョン」サイト

https://www.holdings.toppan.com/ja/sustainability/social/diversity/

TOPPANホールディングス株式会社　広報本部
E-mail:kouhou@toppan.co.jp

＊ 本ニュースリリースに記載された商品・サービス名は各社の商標または登録商標です。

＊ 本ニュースリリースに記載された内容は発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。

以 上

TOPPANホールディングス株式会社　広報本部
E-mail:kouhou@toppan.co.jp